

平成 30 年度「ほっと越谷」市民公募型男女共同参画事業

「ヒューマンライブラリー～あなたが出会ったことのない人に会える～」を開催しました

- 日時： 11月17日（土）10：00～12：00
- 場所： 「ほっと越谷」セミナールーム
- 参加者： 39人（女性27人、男性12人）
- 主催： ロービジョン友の会アリス
- 内容：

「ほっと越谷」では、ロービジョン友の会アリスと協働し、「ヒューマンライブラリー～あなたが出会ったことのない人に会える～」を開催しました。

「ヒューマンライブラリー」とは、誤解や偏見を受けやすい障がい者などのマイノリティ（少数者）が話し手である「生きた本」になり、読者である参加者がその話を聞くことで、新たな視点に気づき相互理解を深めるイベントです。今回は、視覚障がい者、精神障がい者、車いす利用者、知的障がい児・者の家族、LGBT、在日外国人の計6人が「生きた本」になりました。

参加者は講座の中で2冊の本を選び、少人数のグループとなって「生きた本」の話を聞きました。「生きた本」である当事者からの生の声を聞いたり、自由に質問を投げかけたりしながら、普段接する機会の少ないマイノリティたちがそれぞれに抱えている障がいや困難、生活や思い等への理解を深めました。



●参加者の感想

- ・体験やドキュメンタリーを活字で読むよりも感動しました。ヒューマンライブラリーが継続され、根づくことを願います。
- ・ぜひ、ヒューマンライブラリーを続けて欲しいです。本になって話をしてくださり、聞かせてもらい、新たな気づきを得て、よい時間をすごさせてもらいました。
- ・何年も前にテレビのドキュメンタリー番組でヒューマンライブラリーをみて大変感動し、機会があれば参加したいと思っていました。参加してよかったです。主催団体からの「障害者は不幸ではない、不便なところがあるだけ」という話を実感しました。その不便さを抱えながら、一生懸命生活している、生きていご自身やご家族へのリスペクトの思いが深まりました。
- ・とても楽しい時間を過ごすことができました。知らないことを知ること、世界の見え方が変わってくことを実感できました。日々の不便なことだけではなく、ご自身の経験からもっとよりよい世界になるように変えていこうという気持ちをもっている方々の思いが伝わり、感動しました。